

# 児童手当 額改定認定請求書 額 改 定 届

菰野町長

受給者番号		異動年月		提出年月日				※受付確認年月日			
				令和 . .				令和 . .			
受給者	(ふりがな)			住所		〒 -					
	氏名					菰野町		電話番号 ( )			
	性別	男・女	職業	ア. 被用者 (厚生年金・共済年金) イ. 非被用者 (国民年金・その他)				生年月日	昭和 . . 平成 . .		
増額又は減額の別					増 額 ・ 減 額						
増額又は減額の原因となる児童											
18歳未満のすべての児童	氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	監護の有無	生計関係	海外留学をしている場合の出国年月	別居の場合の住所地	※児童との関係で該当する場合に○印		
			平成 . . 令和 . .	同居・別居	有・無	同一・維持	令和 年 月		・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母		
			平成 . . 令和 . .	同居・別居	有・無	同一・維持	令和 年 月		・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母		
			平成 . . 令和 . .	同居・別居	有・無	同一・維持	令和 年 月		・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母		
			平成 . . 令和 . .	同居・別居	有・無	同一・維持	令和 年 月		・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母		
児童の兄弟等	氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	監護相当の有無	生計費負担の有無	海外留学をしている場合の出国年月	別居の場合の住所地			
			平成 . . 令和 . .	同居・別居	有・無	有・無	令和 年 月				
増額した理由				ア. 出生 イ. その他 ( )							
減額した理由		ア. 死亡した イ. 監護しなくなった ウ. 生計を同じくしなくなった エ. 生計を維持しなくなった オ. 日本国内に住所を有しなくなった (留学を理由とするものを除く) カ. 未成年後見人でなくなった キ. 児童の兄弟等の監護相当の世話をしなくなった ク. 児童の兄弟等の生計費の負担をしなくなった ケ. 父母指定者でなくなった (児童の生計を維持する父母等の帰国) コ. 児童自立生活援助を受け、里親等に委託され、又は児童福祉施設等に入所若しくは入院するに至った サ. 児童と同居しなくなった (単身赴任の場合を除く) シ. その他 ( )									
事由の発生した年月日				令和 . .							
備考	※認定・改定・却下	※認定・改定・却下年月日		※認定・改定年月		※手 当 月 額					
		令和 . .		令和 . .		第3子以降分 円 3歳未満分 円 その他3歳以上分 円 計 円					

◎ ※印の欄は、記入しないでください。 字は、楷書(かいしよ)ではっきり書いてください。

注意

- 1 この用紙は、受給者が養育（監護し、かつ、生計を同じくするか又は生計を維持することをいいます。以下同様です。）をする児童（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者をいいます。）又は経済的負担（監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護並びにその生計費の相当部分の負担を行っていることをいいます。）のある児童の兄弟等（18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者をいいます。）に異動があり、その結果、児童手当の額が増額又は減額する場合に、その増額又は減額の原因となる児童について記入の上、提出してください。  
なお、児童手当の額が減額する場合は、「監護の有無」及び「生計関係」の欄は記入する必要がありません。
- 2 児童が海外に留学している場合は、「海外留学をしている場合の出国年月」の欄に、いつから留学しているか（出国した年月）を記入してください。
- 3 「氏名」の欄は、受給者の氏名を記入してください。
- 4 「住所」の欄は、受給者の住民票上の住所を記入してください。
- 5 「生計関係」の欄は、次によって記入してください。
  - ① 「同一」は、児童が受給者自身の子である場合や受給者が未成年後見人又は父母指定者である場合で、受給者がその児童と生計を同じくしているときに○で囲んでください。
  - ② 「維持」は、児童が受給者自身の子でない場合で、受給者がその児童の生計を維持しているときに○で囲んでください。
- 6 増額又は減額の原因となる「児童の兄弟等」の欄の「監護相当の有無」の欄は、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をしている場合には、有を○で囲んでください。
- 7 増額又は減額の原因となる「児童の兄弟等」の欄の「生計費の負担の有無」の欄は、当該児童の兄弟等が受給者の収入により子の日常生活の全部又は一部を営んでおり、かつ、これを欠くと通常の生活水準を維持することができない場合には、有を○で囲んでください。例えば同居であって子の学費や家賃・食費相当の負担の少なくとも一部を親が負っている場合、別居であって親が学費や生活費の一部を仕送りしている場合等が該当します。
- 8 「増額した理由」の欄は、「ア」又は「イ」のいずれか該当するものを○で囲み、「イ」を○で囲んだ場合は、その理由を具体的に記入してください。
- 9 「減額した理由」の欄は、「ア」から「シ」までのいずれか該当するものを○で囲んでください。「シ」を○で囲んだ場合は、その理由を具体的に記入してください。（※「コ、児童自立生活援助を受け、里親等への委託又は児童福祉施設等への入所若しくは入院」については、児童自立生活援助を受け、委託又は入所若しくは入院が2月以内の期間を定めて行われたものである等一定の要件に該当する場合は該当せず、額改定届を提出する必要はありません。）
- 10 「事由の発生した年月日」の欄は、「8」又は「9」の事由の発生した年月日を記入してください。
- 11 この請求書には、児童手当の額が増額する場合は、増額の原因となる児童又は児童の兄弟等について、次の書類を添えて提出してください。なお、当該書類により証明すべき事実を公簿等（マイナンバー制度による情報連携を含みます。）によって市町村長（特別区の区長を含みます。）が確認することができるときは、当該書類は省略することができます。
  - ① 児童又は児童の兄弟等が他の市町村（特別区を含みます。）に住所を有する場合は、その児童の住民票の写し又は住民票記載事項証